

# 2018年3月期 決算説明会資料

## ■本資料における注意事項

この資料には、2018年5月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先：白銅株式会社 管理本部長 谷口 彰洋

T E L 03-6212-2811 F A X 03-6212-2826

ホームページ<http://www.hakudo.co.jp/>

あたらしい、を、素材から。



# 目次

---

|    |                     |     |
|----|---------------------|-----|
| 1. | 2018年3月期【連結】決算のポイント | 2頁  |
| 2. | 【連結】業績推移            | 3頁  |
| 3. | 【連結】損益の状況           | 5頁  |
| 4. | 【連結】貸借対照表           | 6頁  |
| 5. | 【連結】キャッシュ・フロー       | 7頁  |
| 6. | 事業環境                | 8頁  |
| 7. | 今後の事業戦略             | 12頁 |
| 8. | 2019年3月期【連結】業績予想    | 15頁 |
| 9. | 株主還元                | 16頁 |

# 1. 2018年3月期【連結】決算のポイント

## 前連結会計年度比増収増益 および 過去最高を更新

### (1) 売上高は前連結会計年度比 **26.2%** 増加

- ◆ 半導体製造装置および液晶装置業界の需要が堅調に推移した
- ◆ 標準在庫品・特注品ともに前連結会計年度比で増加した

### (2) 営業利益は前連結会計年度比 **40.3%** 増加 経常利益は前連結会計年度比 **39.3%** 増加

- ◆ 販売好調により売上高が伸長した
- ◆ 原材料市況の好転により、商品在庫に係わる相場差益は、3億9千3百万円となった（前連結会計年度は1億6千万円の相場差損）

### (3) 売上高と当期純利益は過去最高を更新

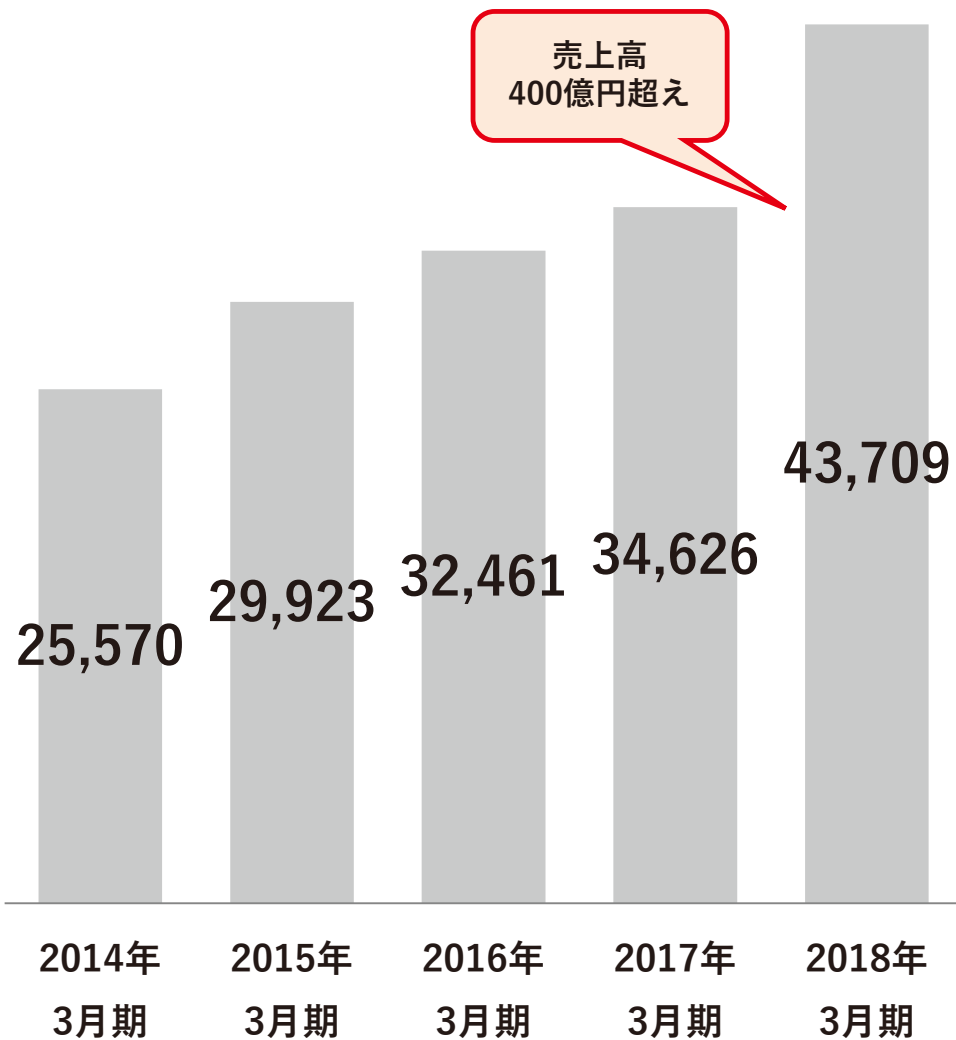
- ◆ 売上高は437億9百万円となり、過去最高の381億1千8百万円（2008年3月期）を超えた
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は20億2千8百万円となり、過去最高の17億7千6百万円（2001年3月期）を超えた

## 2. 【連結】業績推移

### 直近の売上高・営業利益

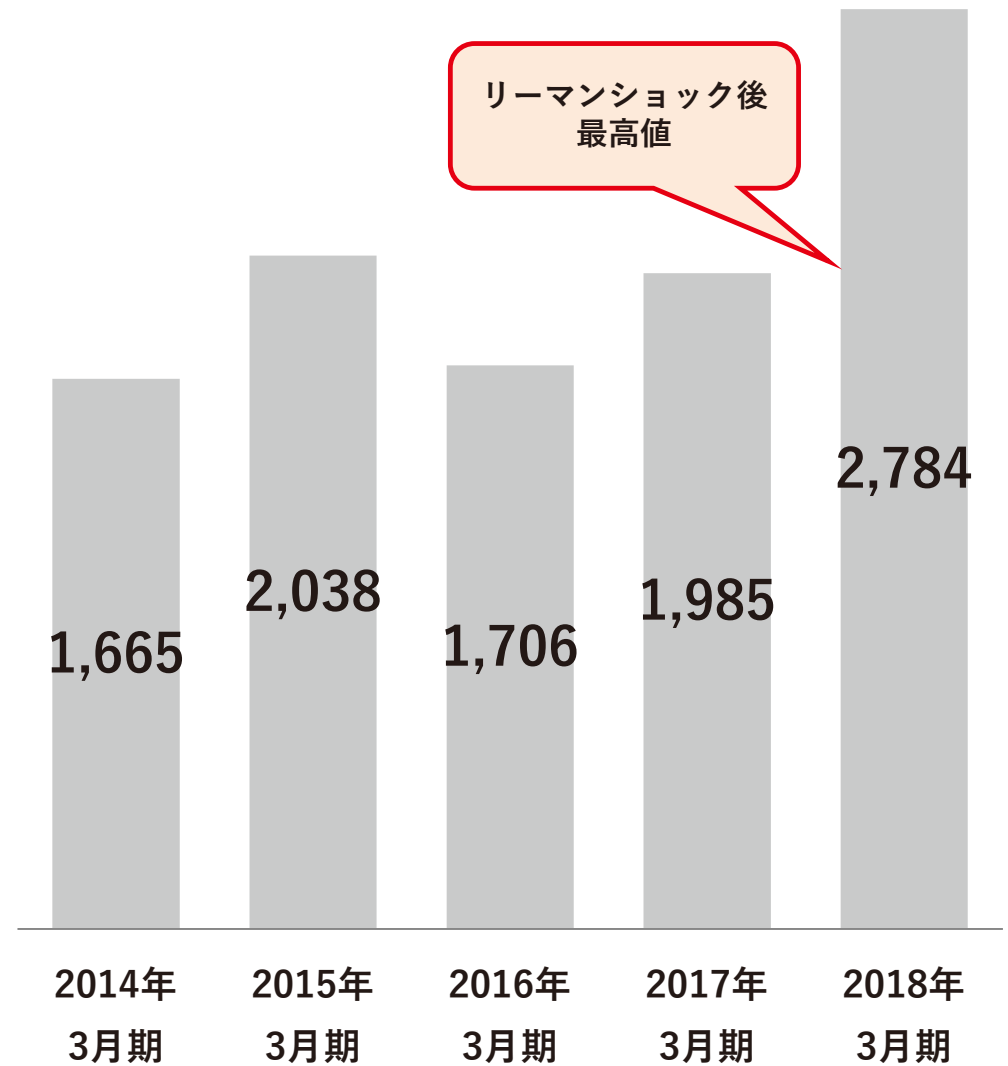
#### 売上高

単位：百万円



#### 営業利益

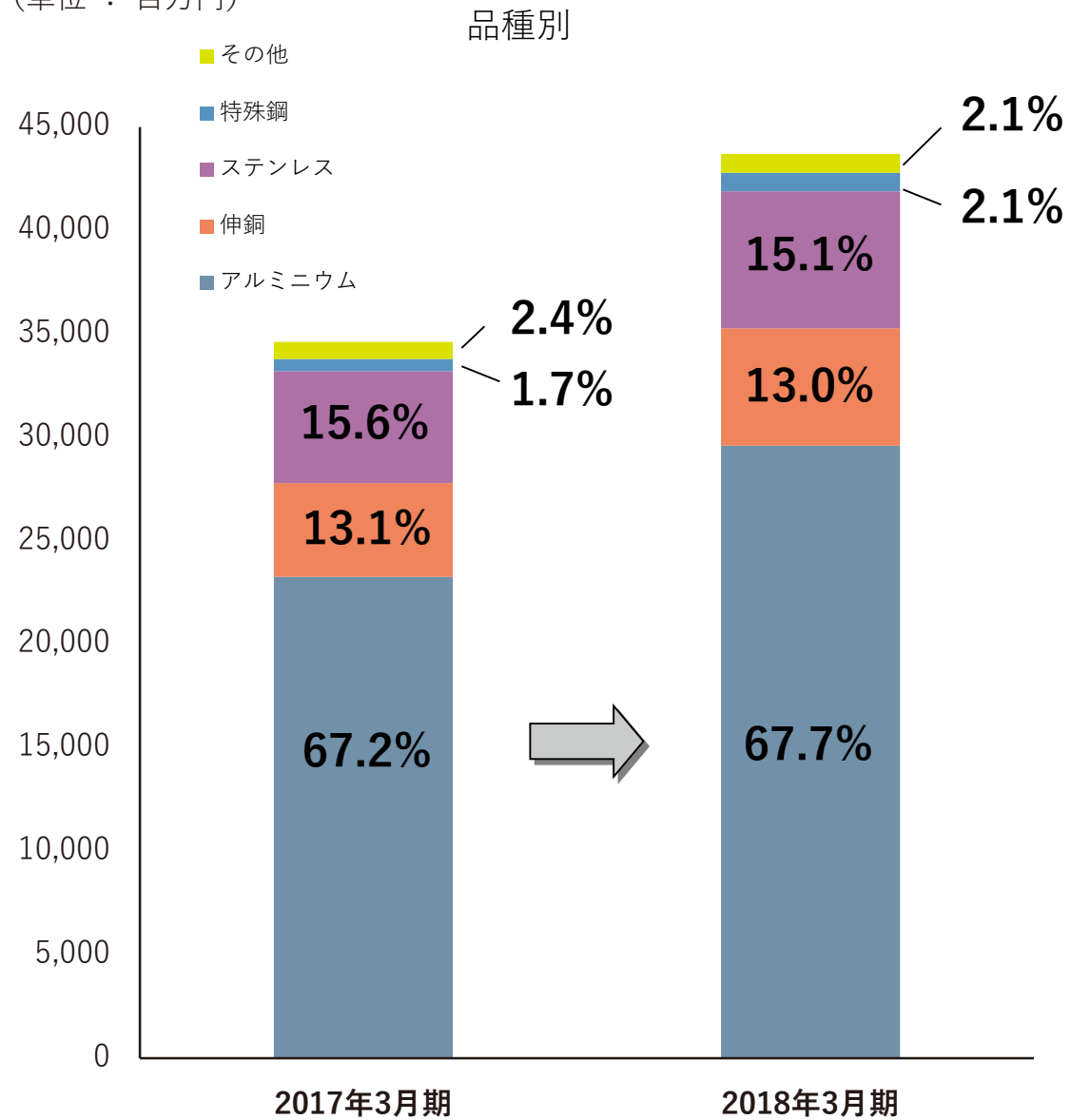
単位：百万円



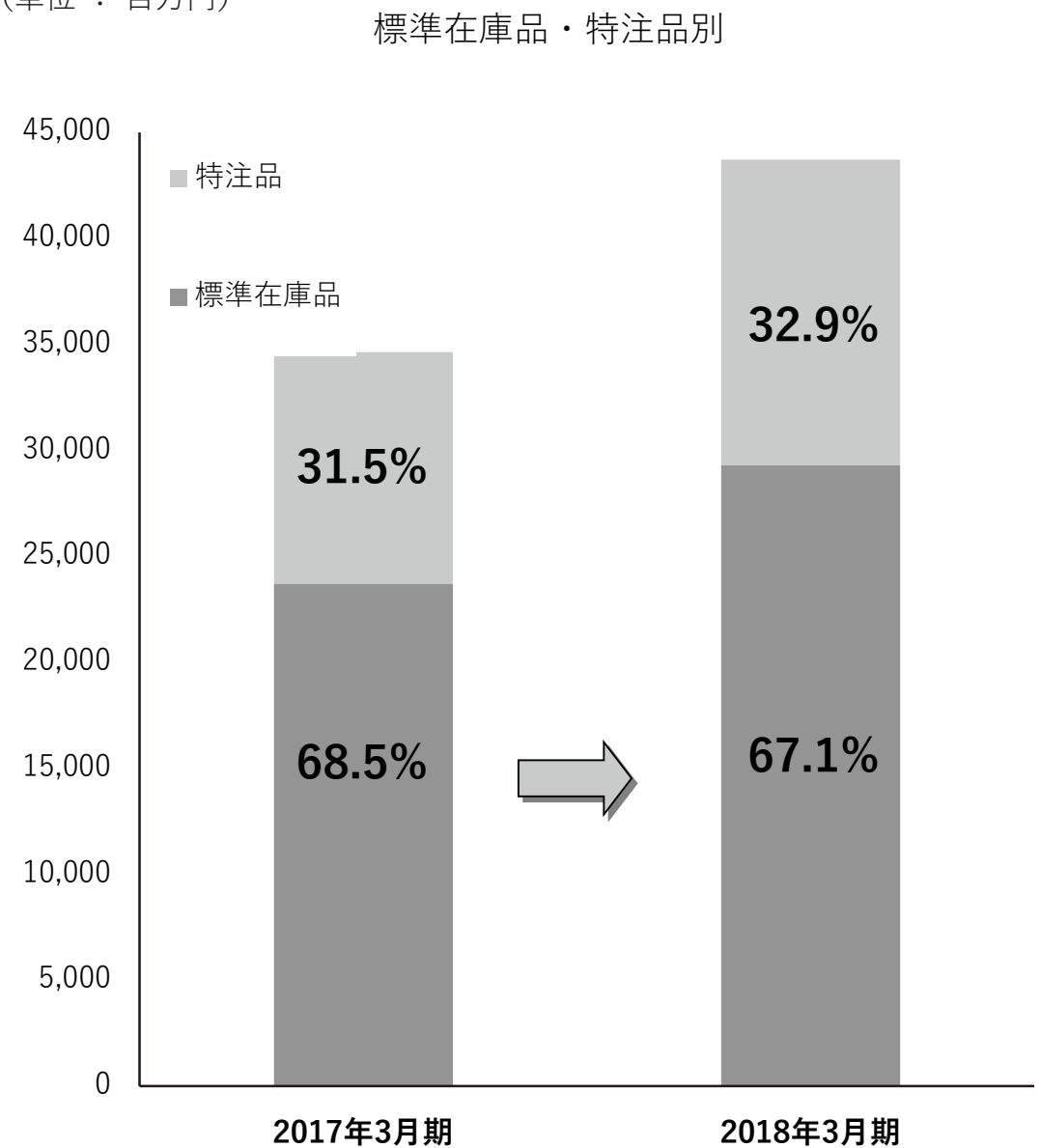
## 2. 【連結】業績推移

### (2) セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



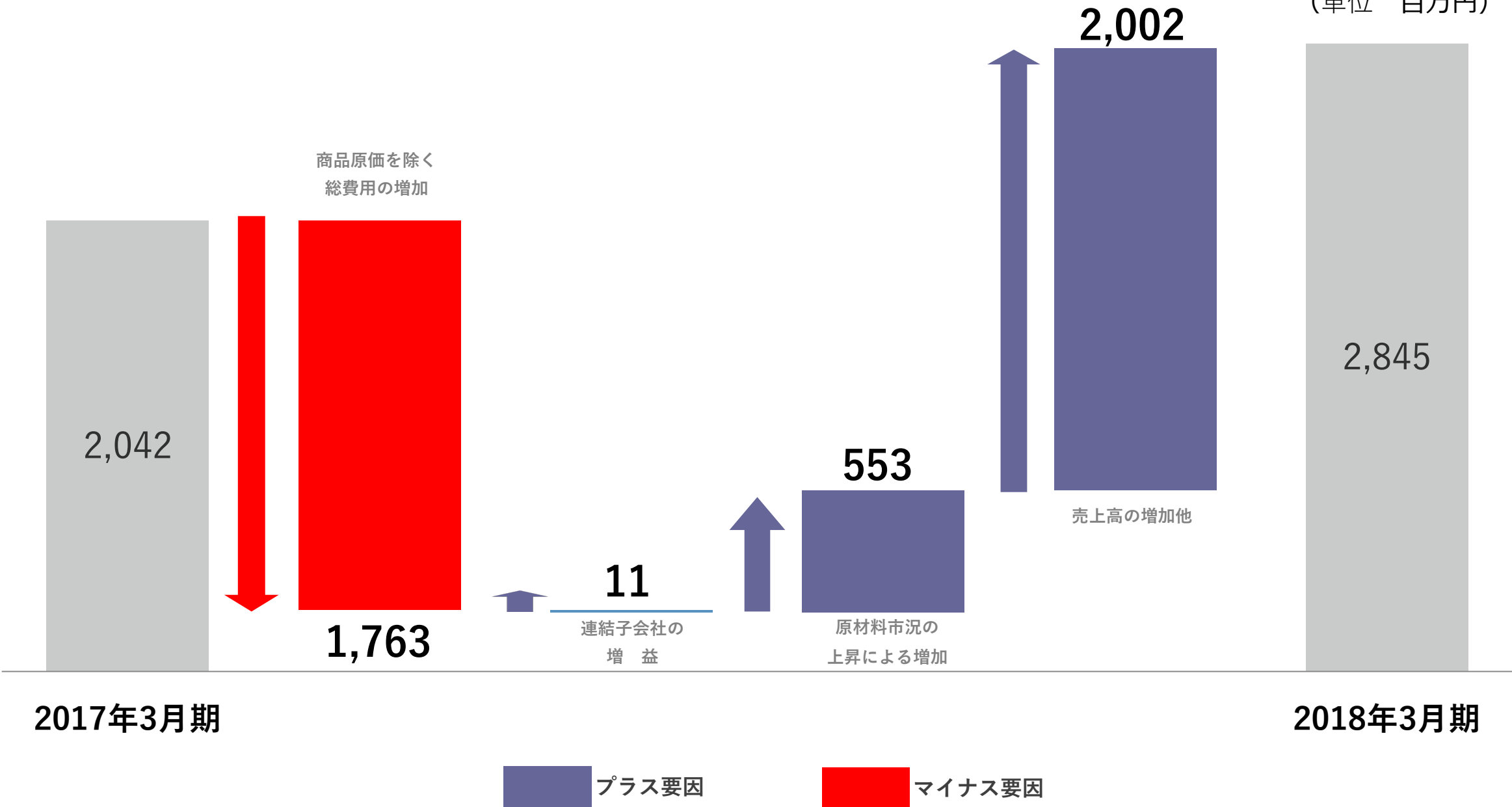
(単位：百万円)



### 3. 【連結】損益の状況

前連結会計年度経常利益と当連結会計年度経常利益の差異理由

(単位 百万円)



# 4. 【連結】貸借対照表

## (1) 貸借対照表(前連結会計年度末比)

単位：百万円

| 資産の部        | 2017年3月末      | 2018年3月末      | 増減           | 負債及び純資産の部        | 2017年3月末      | 2018年3月末      | 増減           |
|-------------|---------------|---------------|--------------|------------------|---------------|---------------|--------------|
| <b>流動資産</b> | <b>21,758</b> | <b>26,740</b> | <b>4,982</b> | <b>流動負債</b>      | <b>13,772</b> | <b>17,899</b> | <b>4,127</b> |
| 現金及び預金      | 4,820         | 5,902         | 1,081        | 支払手形及び買掛金        | 12,020        | 15,769        | 3,749        |
| 受取手形及び売掛金   | 11,656        | 14,995        | 3,338        | 未払費用             | 650           | 768           | 117          |
| 棚卸資産        | 4,952         | 5,449         | 497          | その他              | 230           | 349           | 119          |
| <b>固定資産</b> | <b>6,846</b>  | <b>7,451</b>  | <b>604</b>   | <b>固定負債</b>      | <b>31</b>     | <b>30</b>     | <b>△0</b>    |
| 有形固定資産      | 5,977         | 6,486         | 509          | <b>純資産</b>       | <b>14,800</b> | <b>16,261</b> | <b>1,460</b> |
| <b>資産合計</b> | <b>28,604</b> | <b>34,191</b> | <b>5,586</b> | <b>負債及び純資産合計</b> | <b>28,604</b> | <b>34,191</b> | <b>5,586</b> |

### ■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 26,740百万円（前連結会計年度末比 4,982百万円増加）

・売上高の増加にともなう受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加

②固定資産 7,451百万円（前連結会計年度末比 604百万円増加）

・工場設備等の購入による設備投資の増加

③流動負債 17,899百万円（前連結会計年度末比 4,127百万円増加）

・販売量増加にともなう仕入高増加による支払手形及び買掛金、未払消費税の増加

④純資産 16,261百万円（前連結会計年度末比 1,460百万円増加）

・利益増加による利益剰余金の増加

# 5. 【連結】キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

|                        | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 前連結会計年度末比 |
|------------------------|----------|----------|-----------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー   | 2,413    | 3,103    | 689       |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー   | △1,301   | △1,379   | △78       |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー   | △ 510    | △ 663    | △153      |
| 現金及び<br>現金同等物の<br>期末残高 | 4,820    | 5,902    | 1,081     |

## 主要項目の増減要因分析

### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

3,103百万円（前連結会計年度末比689百万円増加）

- ・税金等調整前当期純利益の増加803百万円
- ・減価償却費の増加111百万円
- ・未払消費税の増加149百万円
- ・法人税等の支払額増加による減少376百万円

### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

△1,379百万円（前連結会計年度末比78百万円減少）

- ・有形固定資産の取得に伴う支出の増加による減少144百万円

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

△663百万円（前連結会計年度末比153百万円減少）

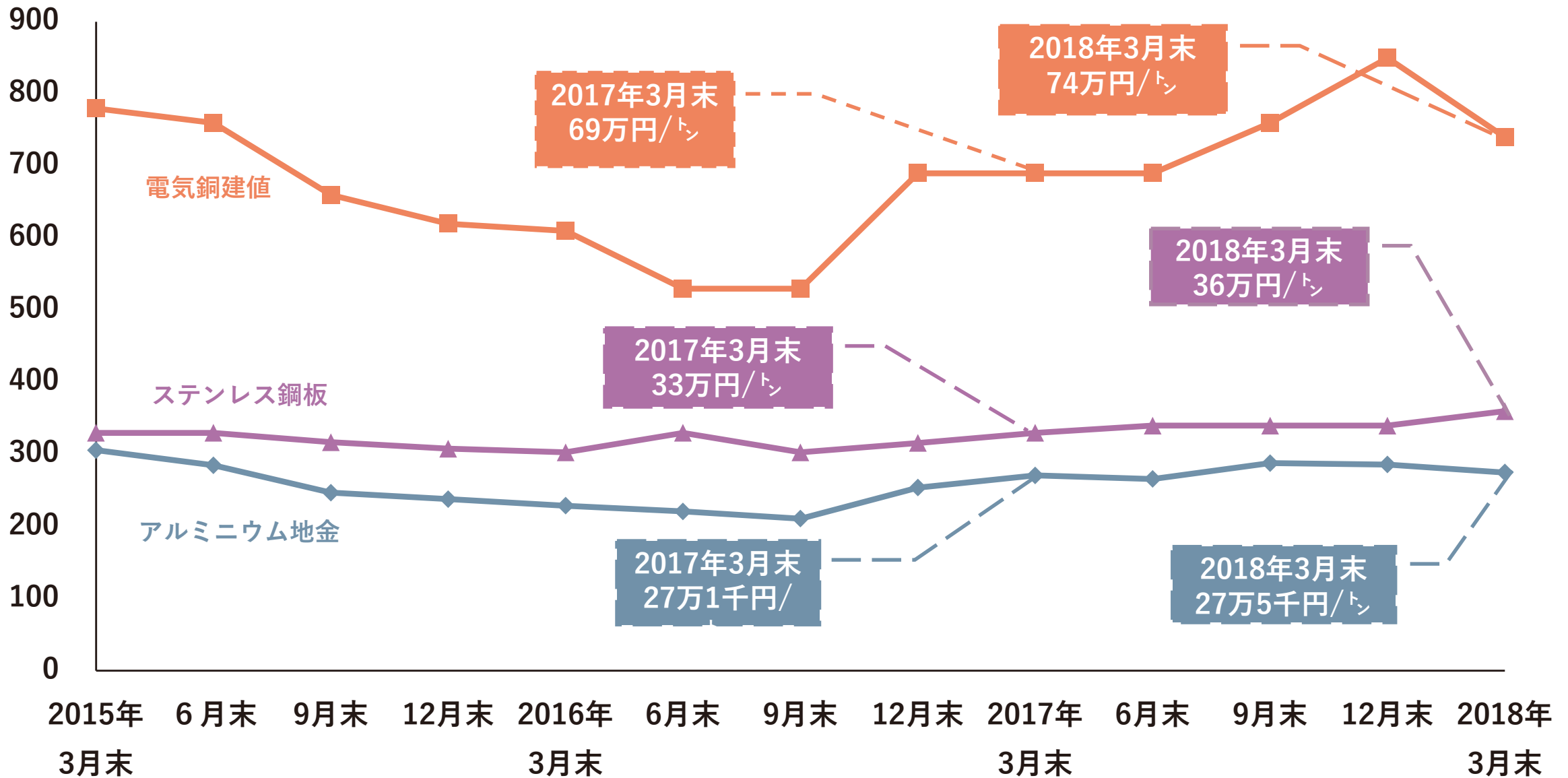
- ・配当金の支払額増加による減少153百万円



# 6. 事業環境

## (1) アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

(単位：千円/ト)



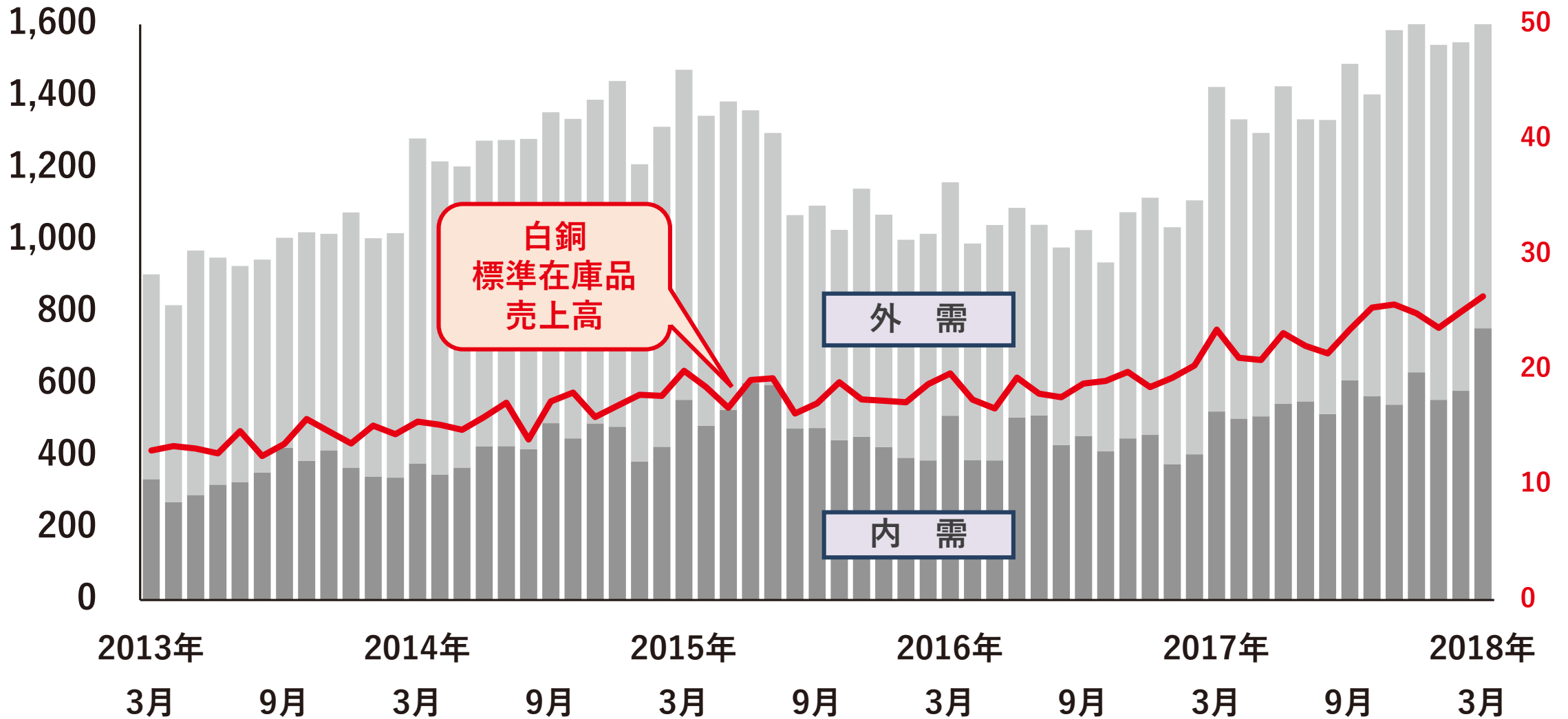
# 6. 事業環境

## (2) 工作機械の受注動向

工作機械受注額  
(億円)

工作機受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較

白銅  
標準在庫品  
売上高  
(億円)



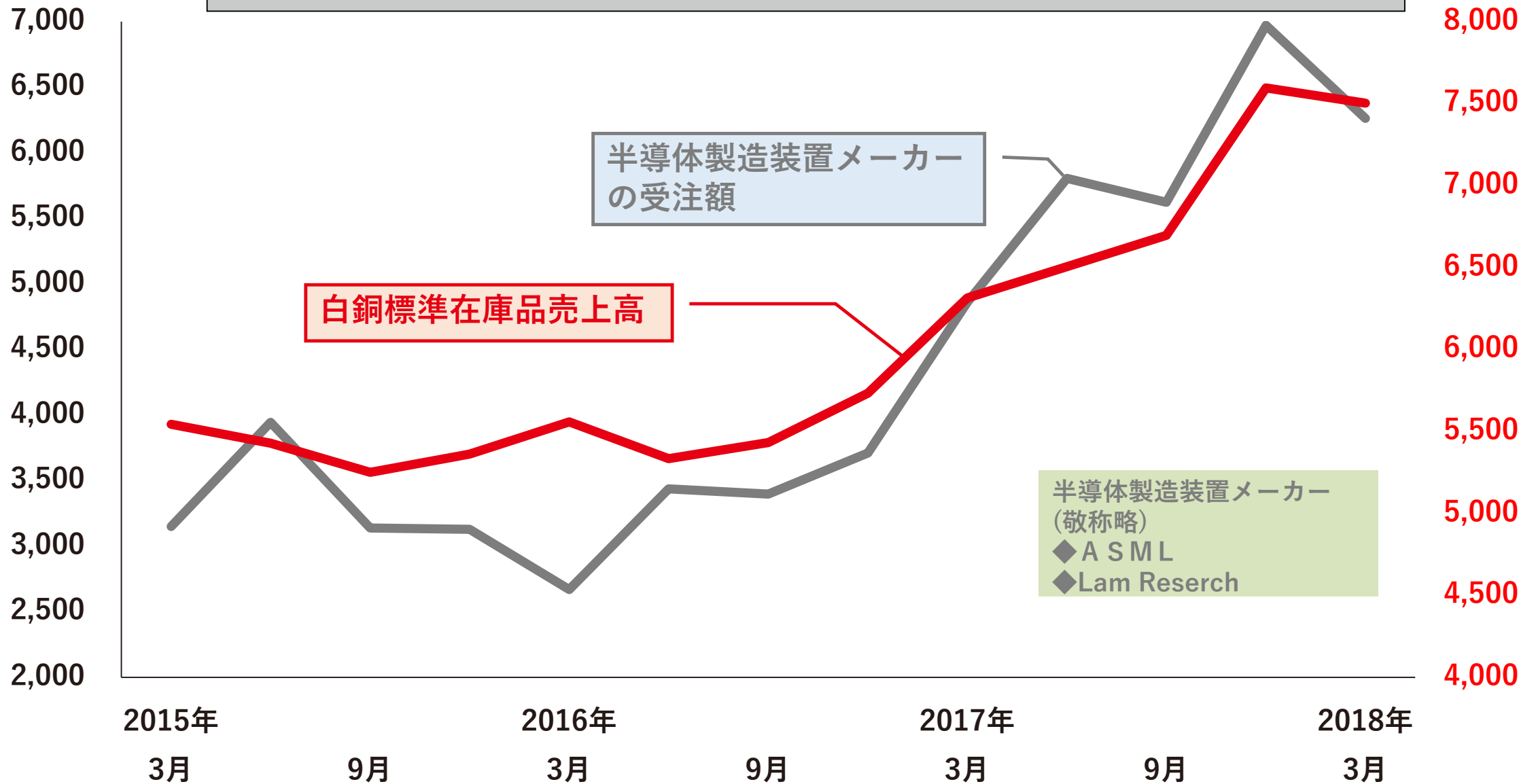
# 6. 事業環境

## (3) 半導体製造装置の受注動向

半導体製造装置受注額  
(億円)

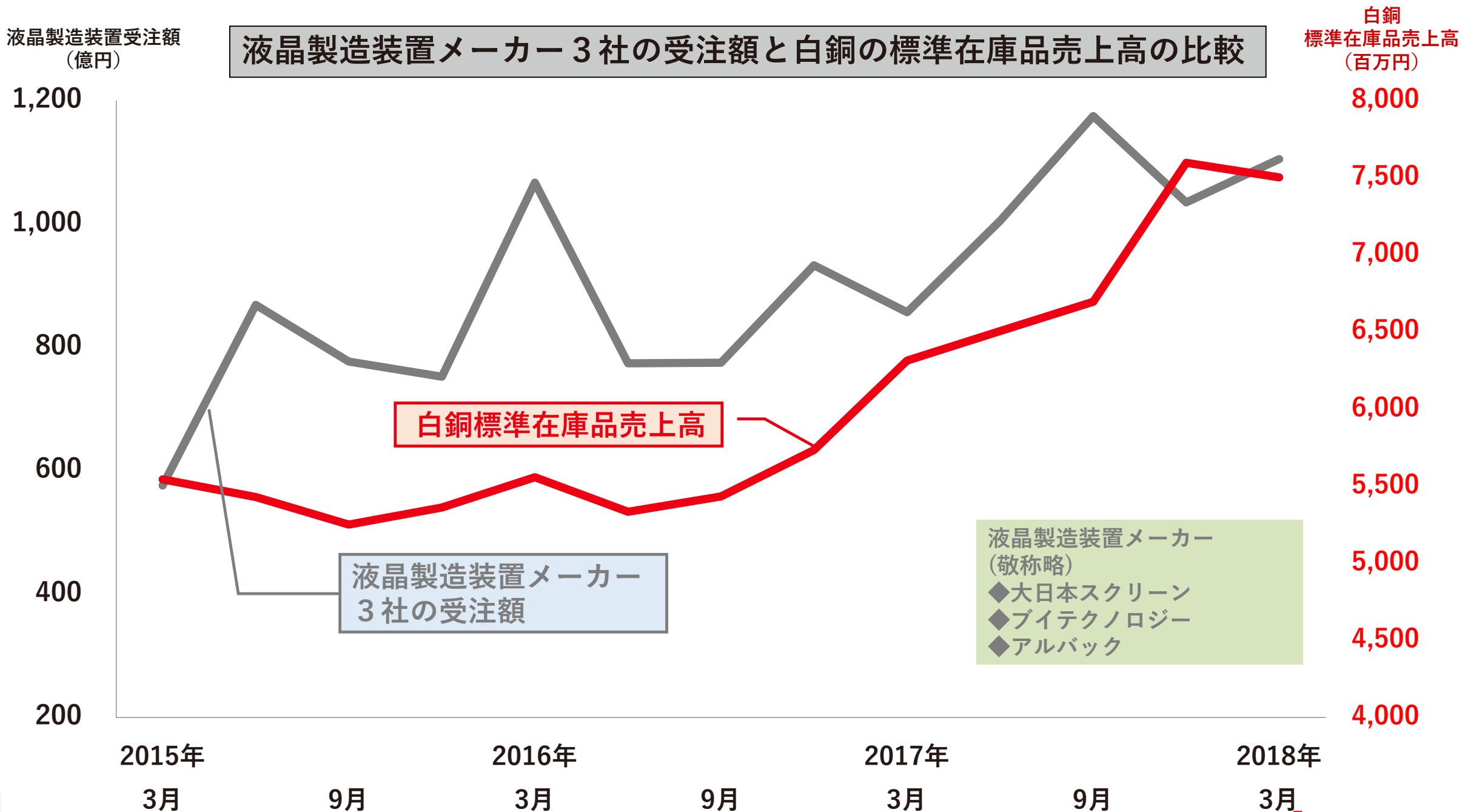
白銅  
標準在庫品売上高  
(百万円)

半導体製造装置メーカー2社の受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較



# 6. 事業環境

## (4) 液晶製造装置の受注動向



# 7. 今後の事業戦略

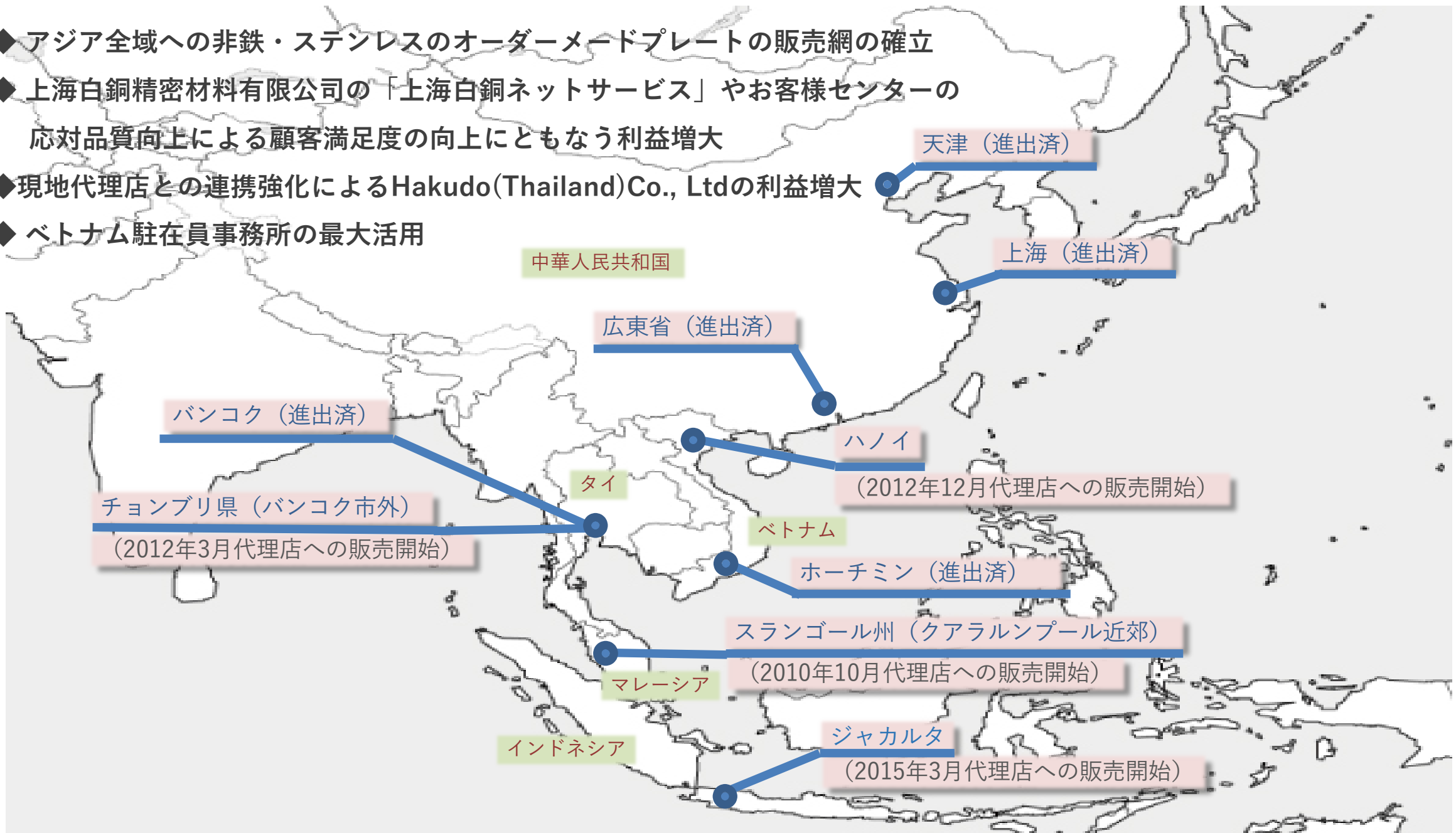
## (1) ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

- ◆ 国内5番目の工場となる埼玉工場開設による生産能力の向上
- ◆ 標準在庫品の品目サイズ数の増加  
(4,300品目サイズから5,000品目サイズへ拡充)
- ◆ 「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上
  - ・ スマートフォンでもご利用可能
  - ・ 他社在庫品もお取り寄せ可能
- ◆ 「航空宇宙規格材料シリーズ」・「エコシリーズ」・「ハイスpekクシリーズ」  
など需要拡大が見込める特徴のある材料の充実

# 7. 今後の事業戦略

## (2) 海外事業の強化

- ◆ アジア全域への非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレートの販売網の確立
- ◆ 上海白銅精密材料有限公司の「上海白銅ネットサービス」やお客様センターの対応品質向上による顧客満足度の向上にともなう利益増大
- ◆ 現地代理店との連携強化によるHakudo(Thailand)Co., Ltdの利益増大
- ◆ ベトナム駐在員事務所の最大活用



# 7. 今後の事業戦略

## (3) 3Dプリンターでの金属製品の受託製造

- ◆2017年4月、2台目を導入、アルミ造形サービス開始
- ◆2018年4月、アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービス開始
- ◆お客様の材料調達や金型製作の時間を大幅短縮
- ◆最終製品をダイレクトに造形可能
- ◆切削加工では困難な複雑な形状の一体構造化の実現
- ◆究極の多品種・少量生産の提供



### 取り扱い金属の種類

- ① マルエージング鋼
- ② ステンレス鋼 (SUS630)
- ③ アルミニウム (AlSi12)
- ④ アルミニウム (ADC12)



画像提供：3D Systems Corporation

あたらしい、を、素材から。  白銅

## 8. 2019年3月期【連結】業績予想

(単位：百万円)

|       | 2018年3月期<br>(実績) | 2019年3月期<br>(予想) ※ | 前連結会計年度比<br>増減 | 増減率  |
|-------|------------------|--------------------|----------------|------|
| 売上高   | 43,709           | <b>46,000</b>      | 2,290          | 5.2% |
| 営業利益  | 2,784            | <b>2,990</b>       | 205            | 7.4% |
| 経常利益  | 2,845            | <b>3,050</b>       | 204            | 7.2% |
| 当期純利益 | 2,028            | <b>2,070</b>       | 41             | 2.1% |

※2018年5月11日発表



# 9. 株主還元

## 1株当たり配当金の推移

